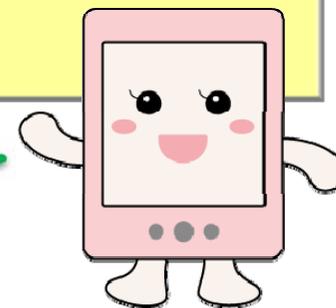


タイプAの実践コンテンツ

【目次】

- 検索サイトと検索の方法
- 収集した情報の適切な^{ひかく}比較・^{ひょうか}評価
- Webサイトの利用で注意すること
- 情報セキュリティの基本的な考え方
- 災害時のインターネット活用

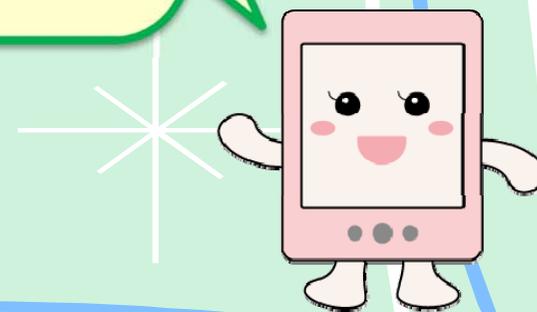
情報を集めて選ぶだけでなく、
身を守るのにも役立てましょう！



検索サイトと検索の方法

インターネットで一番よく使うサービスの一つが、検索サイトの利用です。

検索サイトの基本的な使い方や、検索のコツについて紹介します。

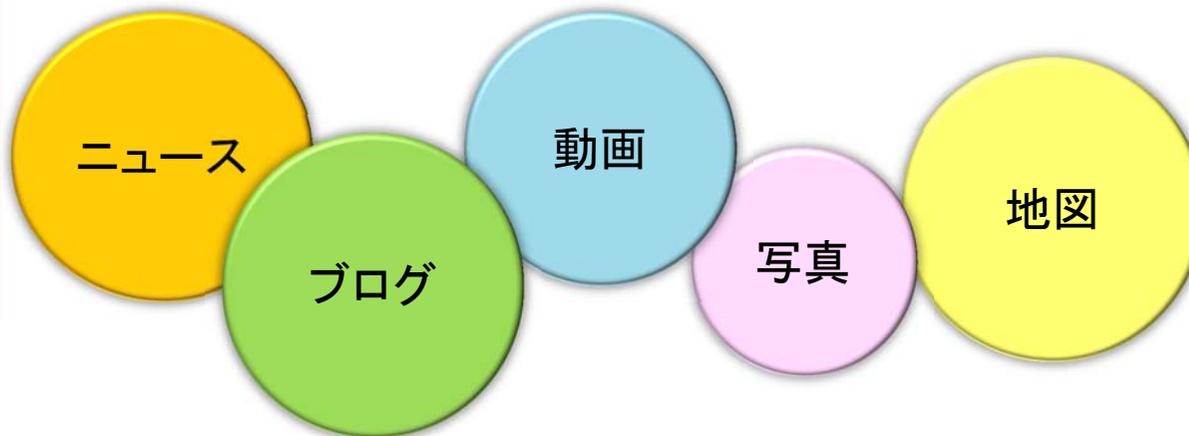


検索サイトとは

検索サイトの基本

- 検索サイトとは、インターネット上の情報を検索する機能を持ったWebサイトのこと。
- 知りたい情報のキーワードを入力することで、それに関連した様々な情報が検索できる。

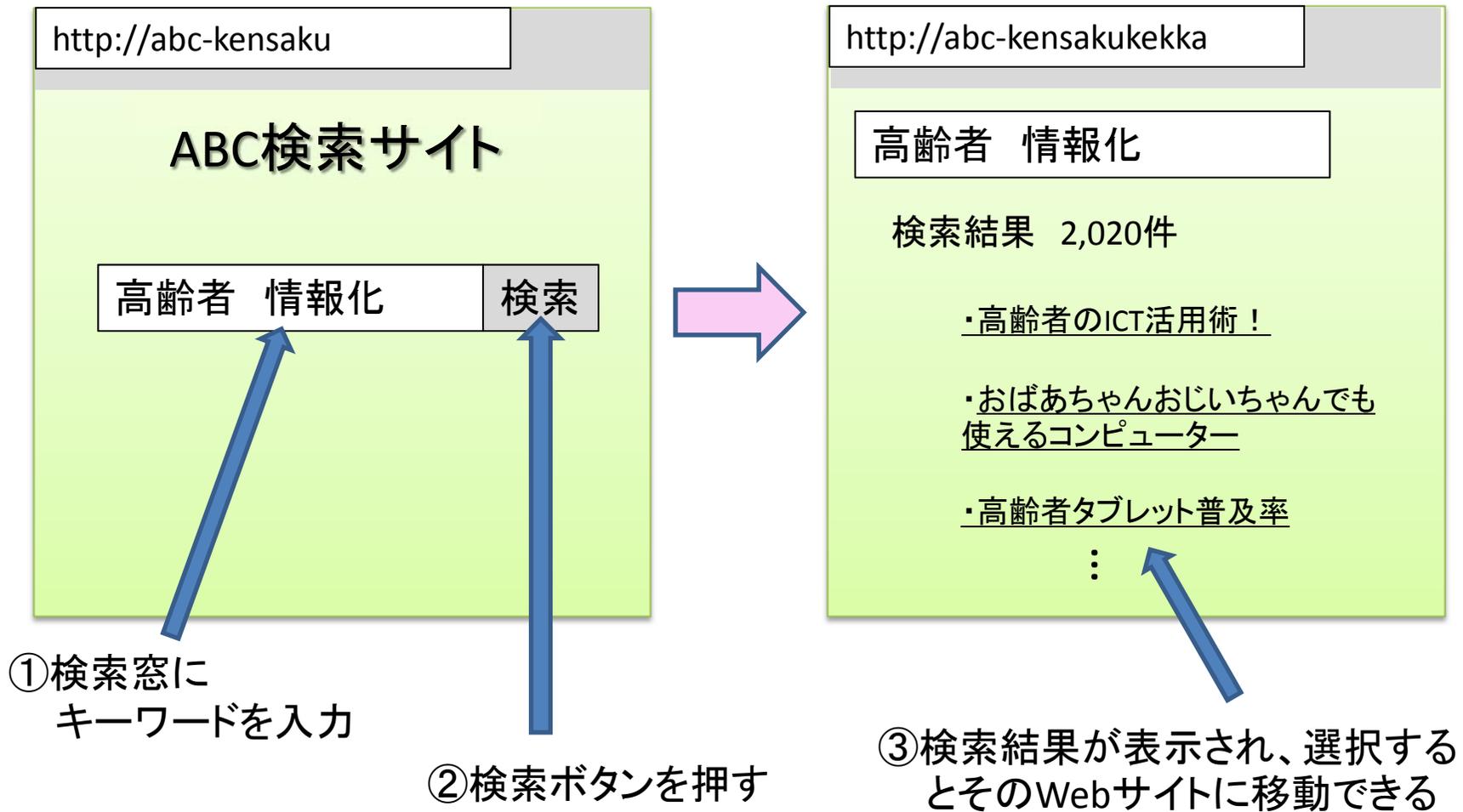
検索内容の多様性



その他、インターネット上に存在するあらゆる情報が検索できる



検索サイトの基本的な使い方



検索サイトはいくつかあります。
まずは試しに使ってみましょう。

検索の“コツ”を知ろう！

➤ 「and検索」

検索窓に複数の単語を空白で区切って入力します。入力した単語がすべて含まれるページの検索結果が表示されます。

(例. 「インターネット 世代」)

➤ 「マイナス検索」

検索結果から除きたいキーワードの直前にマイナス記号「-」をつけて検索すると、そのキーワードがついている言葉が含まれるページを除いた検索結果が表示されます。

(例. 「携帯電話 -スマートフォン」)

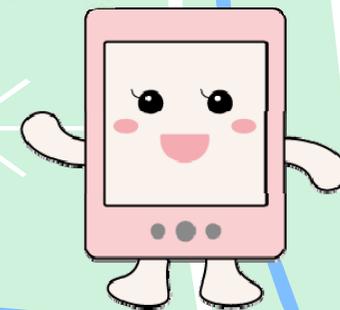
➤ 「フレーズ検索」

本の名前やことわざ、固有名詞等を検索する際に、引用符「“…”」を用いると、「“…”」の中に書いた語順どおりにキーワードが含まれているWebページだけを検索できます。なお、「“…”」をつけないと、フレーズが分割されて「and検索」になります。

(例. 「“社会の情報化”」)

収集した情報の 適切な比較・評価

インターネットにあふれるたくさんの情報を、
かしこく活用するポイントを紹介します。



ひかく ひょうか 収集した情報の比較・評価のポイント

インターネットにあふれるたくさんの情報を、かしこく活用するポイントです。

- ① キーワードの数が1つだと多くの情報が表示され、自分のほしい情報が見つけれない場合があります。複数のキーワードを入れると、求めている情報に近づきます。
- ② 検索結果の順位は機械的に決められており、情報の信頼性とは直接関係ありません。^{しんらいせい}上位に出てくる情報だけでなく、上位以外の情報も見て、比較しましょう。
- ③ インターネット上の情報発信者は多様なので、様々な情報にあたるのが大切です。また、新聞や本など、インターネット以外の情報源と比較することも重要です。
- ④ いつも情報の出所を確認し、引用するときは情報源を明記するなど、法律を守るように行動しましょう。

① <https://www.abc-kensakukekka.jp/search?q=>

② 高齢者 情報化

検索結果 2,020件

- ・高齢者のICT活用術!
- ・おばあちゃんおじいちゃんでも使えるコンピューター
- ・高齢者タブレット普及率

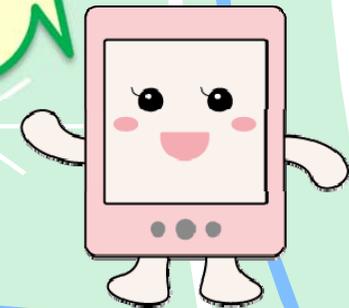


④ 高齢者のICT活用術!

写真: abcサイトより引用
URL: http://.....

WEBサイトの利用で 注意すること

インターネットのWebサイトの中には、
悪意のあるWebサイトが存在します。
自分の身を守るために、Webサイトの種類、
対策方法、トラブルへの対処方法
を知っておくことが大切です。



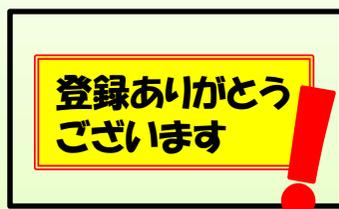
Webサイト利用での注意点(1)

インターネットのWebサイトの中には、悪意のあるWebサイトが存在します。自分の身を守るために、Webサイトの種類や対策方法などを学びましょう。

ワンクリック詐欺のサイト

ワンクリックただで高額料金を請求される^{せいきゆう}といった詐欺^{さぎ}を目的としたWebサイト。

急に...



と表示され、

後日、高額料金を請求するメールが...
例) 「150日間無料で5万円！」

- Webサイトを閲覧していると年齢確認画面が表示され、クリックすると一方的に会員登録されて、高額請求された。
- スマートフォンで提供元がわからないアプリをダウンロードしたら、高額請求をする電話がかかってきた。

フィッシングサイト

きちんとした会社のWebサイトに見せかけ、個人情報を盗むことを目的としたWebサイト。

- すぐに支払うようにとの警告が出ていたので、考える間もなく自分のクレジットカード番号やパスワードなどを入力してしまった。
- いつも使うショッピングサイトとそっくりなWebサイトからメールが届き、更新手続きのために個人情報を入力したが、偽のサイトだったために、後日勝手に買い物を買ったことが判明した。

高額料金を請求されるゲームサイト

最初は無料や低額料金での利用だが、最終的には高額料金を請求される。



- ゲームを利用している途中から急に料金が高くなる。
- 退会料が高い。

Webサイト利用での注意点(2)

見分け方、対策

1. 利用規約やWebサイト運営者の住所・連絡先が明記されているか確かめる。
2. 「**無料**」「**お試し**」「**今だけ!**」といった決まり文句が入っていたら、要注意!
3. 個人情報の入力は慎重に。
(情報を盗むためのサイトも存在します)
4. 危険なWebサイトの事例を知っておこう。

トラブルに巻き込まれてしまったら

1. 危険なWebサイトを利用し^{かくう}架空^{せいきゆう}請求された...

- 全く身に覚えのない請求メールは公的機関へ
- 脅しや根拠^{こんきよ}のない悪質な取り立てを受けた場合は警察へ

2. 危険なWebサイトを通じて個人情報が流失してしまったら...

- メールアドレスなど、変更できるものは変更した上で、公的機関にも相談する



情報セキュリティの 基本的な考え方

インターネットを安全に利用するための
情報セキュリティの基本をご紹介します。



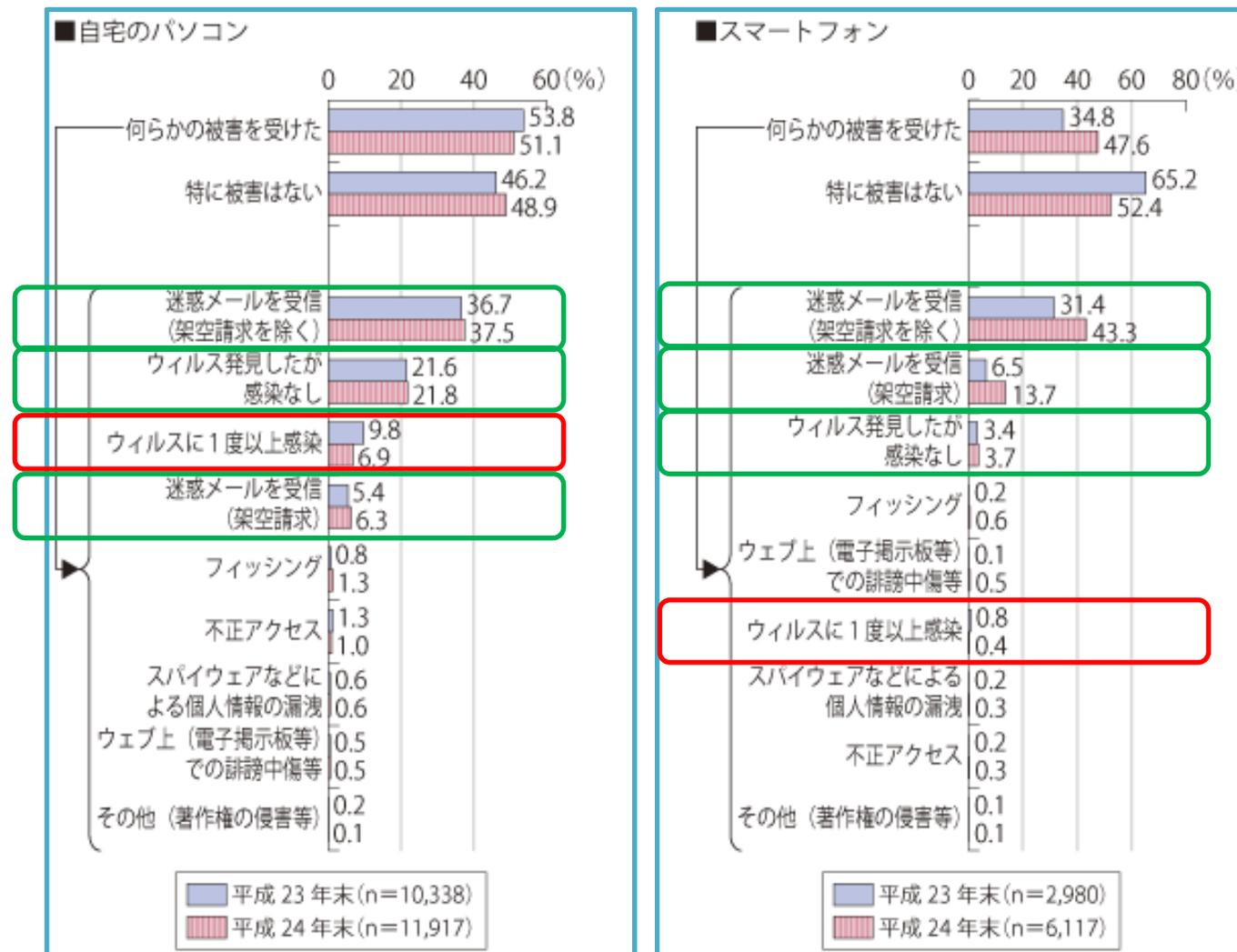
情報セキュリティとは

- 「情報セキュリティ」とは、PCやスマートフォン、タブレットなどで使われている情報を悪用されないように守ることをいいます。
- 「情報セキュリティ」を怠ると、大切な情報が外部にもれたり、ウイルスに感染してデータが壊されたりしてしまいます。これにより、自分だけでなく、他人にも迷惑がかかってしまいます。
- コンピュータやインターネットを快適に使うために、「情報セキュリティ対策」をしっかりとっておく必要があります。

「情報セキュリティ対策」をしっかりと行って、被害を防ぎましょう！

インターネット利用に伴う被害

インターネット利用に伴う被害の多くは、「迷惑メール受信」や「ウイルス発見」です。一方で、「ウイルス感染」なども発生しており、注意が必要です。



主な情報セキュリティ対策等

1. 発見防止

ひょうてき
標的にされる
のをさけよう！

- 個人情報 はむやみに流さない
- SNSで悪質な投稿とうこうをしない
- 迷惑メールのURLを開かない

乗っ取られる
のをさけよう！

2. 侵入防止

- 迷惑メールの添付ファイルてんぷを開かない
- ソフトウェアを最新版にアップデート
- ウイルス対策ソフトを導入
- アプリのインストール前に出所を確認
- 十分に長く、複雑なパスワードを設定

3. 流出防止

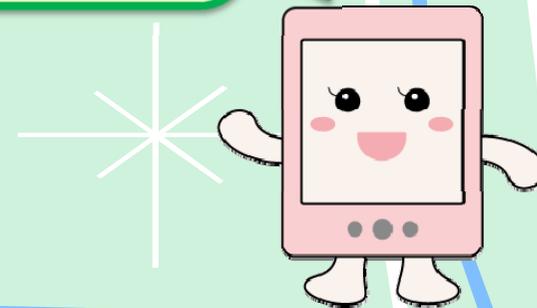
乗っ取り被害を
小さくしよう！

- パスワードを使い回さない
- ファイアウォールを導入
- 定期的にウイルス対策ソフトでスキャンする
- 機密情報は、不要なら削除、必要なら暗号化する

※ iPad、iPhoneには、基本的にセキュリティソフトがない。

災害時のインターネット活用

インターネットは災害時にも
とても役立ちます。
ただし、注意すべき点もあるので、
両面からご紹介します。



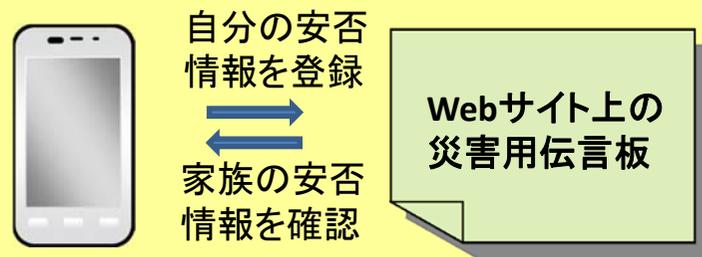
災害時のインターネット活用のポイント

大きな災害が起きたとき、インターネットの活用には「役立つ面(光の面)」がある一方、「注意すべき面(影の面)」もあります。それをよく理解した上で、かしこく活用しましょう。

役立つ面(光の面)

1. 安否確認ができる

- 災害用伝言板
携帯電話等により自分の安否情報の登録や、家族の安否情報等が確認できるサービス。



携帯電話等

2. 最新の災害情報をリアルタイムで入手できる

- Webサイト等からの最新情報
- 緊急速報メール

注意すべき面(影の面)

1. フィッシングサイト

さぎ 詐欺目的で義援金ぎえんきんをつのるWebサイトが作られた。

2. チェーンメール

チェーンメールとは、多くの人に転送するようながすメールのこと。例えば、東日本大震災の際に、「有害物質が発生して雨に混ざって降り注ぐ」という根拠があいまいな内容のメールが広がった。

3. デマ

チェーンメール以外にも、SNSやブログ等を通して、事実でない情報がすぐに広範囲に広がる。

光 影

このコンテンツはこれで終了です

それでは、
次に進みましょう！

